

SYOSSET CENTRAL SCHOOL DISTRICT
倫理規範、行動規範およびサポートに関する方針
教師向けに平易な文章で記述した概要

教師向けの概要

本書は、複数の教師により教師向けにSyosset Central School District の倫理規範、行動規範およびサポートに関する方針を纏めたものであり、社会性や情緒面の成長、前向きでお互いに支え合う人間関係の育成に最も関係する箇所を抜粋したものである。

[The full Code](#)（規定の全文）は、Board of Education – Board Policiesの下にあるDistrictのホームページのリンクを参照のこと。

核となる原則

本規定の目的は、前向きでありお互いに支え合う人間関係を柱に、安全であり橋梁的な学校環境を作ることである。

Syosset Central School District は、成長を促す思考を持つことにより、全生徒が行動面を改善することが出来ると考えている。但し、これを成功に繋げるには、これにかかる時間、これに注力する度合い、サポート量が個人個人の生徒によって異なってくる。生徒の規範およびサポートに関する方針は可能な限り、修復および問題解決を主眼に実施される。罰則は、明確、公正でなければならず、時宜でなければならない。

修復を図る一貫として、生徒には、自らの行動に責任を持ち、反省し、問題解決を図り、損害を修復し、自らの行動を修正するスキルを身に付けることが要求される。

修復を図ることにより、生徒は自らの言動に主体性をもち、以下を行うことが出来るようになる。

- 感情を管理する
- 目標を設定する
- 他人に対し、思いやりを持ち、思いやりを示す
- 前向きな人間関係を構築する
- 堅実な選択をする

学校職員および親は、生徒が正誤の分別が出来るよう、自主的に正しい事をするように動機付け、自らの言動に責任を持たせる。

権利および責任

倫理規範、行動規範およびサポートに関する方針は、生徒を学校で前向きに行動させるサポートをする指針となる。その意図するところは、効果のでる方法を用いて生徒の不正行為を防止することである。

教師には、生徒が教育面で達成できるように指導し態勢を整えることを求められている。教師がすべきことは、定期的に生徒および親・保護者に、どのような成長を期待し、何を達成することを期待しているかを明確に伝えることである。教師には、修復に向けて積極的に対人衝突の解決を図る姿勢で臨むことが求められている。

生徒が学区の倫理規範、行動規範およびサポートに関する方針に違反した場合、規定の全文に記載された罰則を受ける場合がある。対人衝突がある場合は、状況に応じて修復的に衝突を調停する場合がある。

生徒の行動

全生徒には、倫理規範、行動規範、サポートに関する方針に沿って行動することが求められている。それにより、学校内やバス、課外活動における差別やいじめ・インターネット上のいじめ、嫌がらせのない、安全かつ相互助け合いの精神をもった学校環境を作ることが求められている。

生徒が自らの言動および不正行為がもたらす結果に対する責任を負い、その責任を認めることを学ぶ場でもある。

生徒には、適切に教師やサポートスタッフ、管理人の指示に従い、対人関係において相互に優しさをもって接すること、科学技術を正しく用いることが求められている。こういった要請を満たさない生徒には、相応の処置が施される。生徒には、自らの言動に対して反省すること、今後に向けての具体的な改善策を特定することを求められる。求められている行動や処置についての内容は、倫理規範、行動規範およびサポートに関する方針の全文を参照のこと。

用語の定義

以下の用語は、教師が、学区全体の新方針を学ぶべく、また多くの場で用いられる言葉であるため、抜粋したものである。

修復を図る:共存、人間関係の構築、問題解決を図ることをいう。

修復を目的とした介入:複数の者が学び、対人衝突の解決を図り、話し合いにより不正行為を正すこと

成長を促す思考とは、生徒が粘り強く努力することによって、一層習得することが出来るという考え方。

学業上の不正行為:一定の行動もしくはその試みにより、学業の世界（生徒、スタッフ、親）において、不当に利益を得る者が生じること。

嫌がらせ:脅し、脅迫、迫害により、生徒の教育成果の阻害になる悪環境を作ること。それには、いじめ、インターネット上でのいじめ、差別も含まれる。